

6 学 校 教 育

◎ 基本目標

「人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子供の育成」
～科学的な探究心を育み、確かな学力を身に付けさせる教育の推進～

1 現状と課題

本市は、長年農業と先端技術工業を産業の基盤として、いわゆる農・工一体型の地域社会として様々な叡智を編み出し駆使しながら発展してきた。また、自然・科学・文化・芸術等の分野に多くの優れた人材を輩出しており、学校教育においても、地域の教育資源や人材を積極的に活用し、感動ある学び・意欲的な学びの創造等を核に各種施策を進めてきている。

各校ではふるさと教育を基底としたコミュニティ・スクールを推進し、各地区の歴史・伝統を踏まえ、特色ある教育課程を編成している。児童生徒一人一人は、具体的な目標実現を目指して主体的に学習に取り組んでいる。その成果として、粘り強く科学的に探究対象を見つめ、思考したり表現したりする活動を通して、これまで、日本学生科学賞内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・旭化成賞受賞、全国小中学校作文コンクール文部科学大臣賞受賞や、青少年読書感想文コンクール毎日新聞社賞受賞等、科学分野や文芸等でも全国的にも優れた賞を受賞してきた。

これらのことを踏まえ、今後も科学する心と力を育む教育を一層進めるとともに、科学的な探究心を育み、確かな学力を身に付けさせる教育に努め、地域の期待に応えるようにする。その際、教育・人材育成の基本を常に「子供に“寄り添い、教え、導く”」ことを理念に、活動をしっかり展開していくことを確認したい。

2 基本方針

○「人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子供の育成」

本市の目指す教育の将来像は、市の総合計画・新創造ビジョンより「共生・躍動・自立」という視点で進めてきている。特に、各地域の特色を生かした体験活動や道徳及び特別活動の指導を通し、人や自然を敬い感謝する心が育まれるとともに、先人の業績や地域の文化に触れるふるさと教育を通して、学習に広がりや深みが増してきている。

また、授業スタイルの構築・活用により、指導の工夫改善を図るとともに、自ら学ぶ力を発揮した家庭学習の充実を進めていく。また、言語活動をより充実させることに取り組むとともに、体験したことを表現し伝え合い考察する活動を推進し、読解力等の生きてはたらく力を培っていききたい。将来は、人と豊かにコミュニケーションできる子供、文化を新しく創造していく子供等、ふるさとへの恵まれた環境を生かして物事に積極的に取り組む心身共にたくましい子供の育成を図っていききたい。

～科学的な探究心を育み、確かな学力を身に付けさせる教育の推進～

各校では豊かな自然や先人の業績に「触れ、学び、活かす」という機会をもちながら多様な学習活動を展開し、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を目指してきた。市では、科学フェスティバルをはじめ、地域の人材や高校、大学などの教育機関、企業等との連携を図り、知的好奇心を喚起し、探究的な活動を行うことができるようにしてきている。また、学校を取り巻く学びの支援ネットワークを整備し、多様な学習活動の充実に取り組んでいる。

さらに、全国調査等各種アンケートの分析・検証と、日々の授業研究とをリンクさせた授業改善の取組により、子供たちの学びの質も確実に向上してきている。

また、授業改善を進めるにあたりアクティブ・ラーニングの視点を重視し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業構築を更に進めていく。そして、自分の能力を最大限に発揮して自己実現を図る「主体的に挑戦する学び」を創造していききたい。

また、人との「コミュニケーション」の在り方や自分をかけがえのない存在とする「自尊感情」のもたせ方、「自己表現」しようとする力などを基盤にして、次期学習指導要領の趣旨を生かし、科学的な見方や考え方ができる児童生徒の育成、確かな学力を身に付け、自信をもって表現できる児童生徒の育成を図っていききたい。

由利本荘市が目指す人間性豊かな子供像

- 自然や地域文化を愛し、他人を思いやり奉仕する、心豊かな子供
- いのちの尊厳や万物共生の精神を理解し、たくましく生きる子供
- 目標をもち、自信と誇りをもって科学的に探究しながら、学び続ける子供

3 学校教育の重点施策

(1) 地域力を活かした学校づくりと学校力を活かした地域づくり

- ① 自己実現を目指すふるさと教育・キャリア教育
 - ・子供一人一人の社会的自立を踏まえた生き方指導の充実
 - ・学ぶことや働くことの意義を実感できる指導の充実
 - ・“学ぶんチャレンジ・プログラム”の活用
- ② 中学校区を中心とした小中一貫教育の推進
 - ・小学校から中学校への接続の円滑化（中1ギャップへの対応）
 - ・小・中合同会議における、ワークショップ型等の協議の充実
 - ・児童生徒の規範意識の向上、異年齢集団での活動による自尊感情の高まり、教職員の児童生徒理解や指導方法改善意欲の一層の高まり
- ③ 学校・地域間の情報共有
 - ・関連事業の学校便りへの掲載、CS通信の発行
 - ・「いじめの防止・撲滅」にしっかりつながる連携・情報交流
 - ・まなぶんボードの活用（全小・中学校、公民館での掲示）

- ◇ 「地域の良さに気付く子供」「地域の課題に目を向ける子供」「地域の未来を考える子供」の育成
- ◇ 学校と家庭、地域相互の働きかけによる学力向上への取組
- ◇ 学校運営協議会、地域運営協議会の設置と市連絡協議会の開催による、組織的で計画的な運営
- ◇ 協働コーディネーターの配置による、学校・地域・行政等の連携による各自の事業計画に基づいた取組の活性化

(2) 確かな学力の形成

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた実践的研究の継続
 - ・H27～29の西目小・中学校における、主体的・対話的で深い学びを実現する授業の在り方や、資質・能力の育成につながる校内研修の在り方に関する研究成果の一層の共有と拡大
 - ・各校教職員による、協働的・組織的・自覚的な研修体制の確立
 - ・教育活動の質を向上させ、学習の効果を高めるためのカリキュラム・マネジメント
 - ・資質・能力の育成を目指す単元のデザイン化、指導・学びのマップ化
 - ・「求めて学ぶ主体的な学習」を支える手立ての工夫と学習形態や学習過程の柔軟な展開
 - ・自己の変容など、学びを自覚し、学びをつなげる振り返り
 - ・子供の姿を視点とする、教科を超えた授業分析の実施と小中連携の推進
- ② 英語教育の推進
 - ・「外国語教育強化地域拠点事業（H26～29）」の研究成果の共有と拡大
 - ・外国語・外国語活動を担当する教育専門監の小学校への配置による教員の指導力向上
 - ・小学校高学年の外国語「教科化」に向けた取組（指導体制の確立と評価に関する研究）
 - ・低学年：慣れ親しむことを目指した15分程度の短時間学習を年数回実施
 - ・中学年：「話す・聞く」を中心としたコミュニケーション能力の育成を目指した25単位時間以上の外国語活動を実施
 - ・高学年：「話す・聞く」に「読む・書く」をプラスした教科として60単位時間以上の外国語を実施
 - ・小学校での指導内容を踏まえた、中学校における言語活動の高度化
- ③ 理数教育等の充実
 - ・体験的・操作的活動の充実及び論理的思考力と創造力の育成
 - ・子供の問いを大切にし、解決する喜びを味わえる授業の構築
 - ・課題解決に必要な、学びに向かう力の醸成や、日常生活等から問題を見いだす活動や見通しをもった観察・実験などの充実
 - ・科学フェスティバル等、児童生徒の科学に対する関心を高める事業の実施
 - ・科学教育を担う指導スタッフの充実

- ◇ 教育研究所・理科教育センター等による各種研修会の実施
- ◇ 授業力向上訪問の実施（国語、算数・数学、理科、外国語・外国語活動）
- ◇ 教育専門監の配置（算数・数学、理科、外国語・外国語活動）
- ◇ 中学生アカデミーの実施（数学・英語）
- ◇ ブロック別〔北・南・東の3ブロック〕授業実践研究会の開催
 - 〔北ブロック〕小：10月26日（金）、中：11月16日（金）
 - 〔南ブロック〕小：10月 3日（水）、中：10月24日（水）
 - 〔東ブロック〕小：11月22日（木）、中：11月15日（木）

④ 特別支援教育及び就学前教育等への支援

- ・ 早期からの教育相談体制の整備
- ・ 個別の指導計画等の作成を通じた支援の充実
- ・ 「0歳から就労まで」継続的・系統的な支援体制の構築
- ・ 就学先への効果的な引継ぎ方法の確立

- ◇ 幼児通級指導教室（さくら教室…鶴舞小、岩谷小）
- ◇ 個別の指導計画と教育支援計画の作成（「学ぶんファイル」「引き継ぎシート」の活用）
- ◇ 特別支援教育地域支援センター（鶴舞小）、相談ルーム（岩谷小）
- ◇ 通級指導教室（鶴舞小：言語・LD等、矢島小：LD等、本荘北中：LD等）
- ◇ 学校生活サポート（学習支援・生活支援・医療サポート）の配置

⑤ 情報活用能力、コミュニケーション能力の育成

子供たちの情報活用に関する指導を、図書館やコンピュータールーム等の施設活用を図りながら推進する。また、関係機関と連携して情報化社会に必須な情報モラル教育を徹底する。

- 情報機器等の効果的な活用
 - ・ 情報モラル教育の充実（警察署や携帯電話会社等外部機関との連携）
 - ・ 教科等における電子黒板やタブレットPC等、ICT機器の活用
- 図書館の活用、読書活動の充実（朝の読書活動、読み聞かせ活動等）
 - ・ 授業における学校図書館の活用の拡大
 - ・ 学校図書館と公立図書館との連携強化（トライアングルプラン）
 - ・ 新聞等の効果的活用による、情報処理能力・問題解決能力等の育成

(3) 豊かな人間性の育成

① 育成すべき資質・能力を明確にした道徳教育の充実

- ・ 道徳の教科化を踏まえ、多面的・多角的に深く考えたり議論したりする道徳授業の在り方及び評価の在り方に関する研修体制の確立と実践的研究
- ・ 使用教科書に対応した指導計画の作成と指導方法の工夫
- ・ 各教科や領域との関連を図った計画的な指導の充実

② 児童生徒理解と支援

- ・ 自己肯定感の醸成
 - ◇ 生徒指導の三機能を生かした指導の充実
 - ◇ 道徳教育やキャリア教育との連携による指導の充実
- ・ 不登校・いじめ問題等への対応
 - ◇ 不登校児童生徒数の減少に向けたきめ細かな対応の充実
 - ◇ 保護者との連携やスクールカウンセラー等関係機関との連携
 - ◇ 市いじめ問題対策連絡協議会の開催
- ・ 人権教育の推進
 - ◇ 自分の大切さとともに他者の大切さを認める意識の涵養
 - ◇ 日常生活で行動に表そうとする態度の育成

③ 健康でたくましい心と体の育成

- ・ 基礎体力向上への取組（体育学習の活性化、行間活動等の奨励）
- ・ 体力づくりのための創意工夫ある実践（チャレンジデー参加等）
- ・ 栄養教諭制度の円滑な実施をはじめとした食に関する指導の充実

④ 安全安心な通学路の整備

- ・「由利本荘市通学路交通安全プログラム」に基づく合同点検の実施
- ・危険箇所への対策の実施

- | | |
|------------------------|------------------------|
| ◇ 教育相談窓口の設置 | ◇ 適応指導教室（本荘ふれあい教室）との連携 |
| ◇ スクールカウンセラーの配置（中学校9校） | ◇ 市学校生活アンケートの実施 |
| ◇ 緊急連絡メールの有効活用 | ◇ 芸術鑑賞教室、劇団四季ミュージカル鑑賞 |
| ◇ 中学生会議の開催と全中学校による共通実践 | |

(4) その他

学校事務の共同実施

各学校の事務職員が情報を共有し、相互に支援し、共同で学校事務を処理することにより、事務の正確性、効率性、専門性を高めるとともに、学校運営及び教育活動への積極的な支援に努めることができるよう学校事務・業務の共同実施を推進する。

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| ◇ 「共同実施グループ」について | (*) : グループリーダー校 |
| ○ グループ1 | 由利中(*), 矢島小, 由利小, 鳥海中, 矢島中, 鳥海中 |
| ○ グループ2 | 大内中(*), 岩城小, 岩谷小, 大内小, 岩城中 |
| ○ グループ3 | 本荘東中(*), 尾崎小, 子吉小, 東由利小, 東由利中 |
| ○ グループ4 | 新山小(*), 小友小, 石沢小 |
| ○ グループ5 | 鶴舞小(*), 西目小, 本荘北中, 本荘南中, 西目中 |

[学校教育課関係等の行事予定]

4月	・春季教職員研修会(4/12) ・全国学力・学習状況調査(4/17) ・全国学力・学習状況調査採点委員会(小:4/23、中:4/25)	10月	・市幼保小連携研修会 ・通学路安全推進会議 ・中学校少年非行防止・防火弁論大会 ・親子読書感想文発表会 ・高橋宏幸賞感想文・感想画コンクール ・中学生会議
5月	・授業力向上訪問(～2月) ・本荘ふれあい教室開級式(5/14) ・教育研究所等運営委員会①(5/14) ・コミュニティ・スクール連絡協議会① ・チャレンジデー(5/30)	11月	・教育委員学校訪問Ⅱ期 ・由利本荘市民音楽祭 ・中学生アカデミー ・教育支援委員会①
6月	・教育委員学校訪問Ⅰ期	12月	・第15回科学フェスティバル(12/1) ・県学習状況調査(小:12/5、中:12/6) ・県学習状況調査採点委員会(小:12/7、中:12/10) ・PTA連合会との連携 ・コミュニティ・スクール連絡協議会②
7月	・初期層研修会(7/31)	1月	・冬季教職員研修会(1/10) ・いじめ問題対策連絡協議会②(1/23)
8月	・生徒指導研修会(8/2) ・情報教育研修会(8/2) ・夏季教職員研修会(8/8) ・いじめ問題対策連絡協議会①(8/17) ・図書館担当者研修会(8/17) ・特別支援教育研修会	2月	・教育支援委員会② ・教育研究所等運営委員会②(2/6)
9月	・児童生徒理科研究発表会 ・本荘由利英語暗唱弁論大会		